

むらいクリニック通信

睡眠時無呼吸症候群と骨格・体型

睡眠時無呼吸症候群の原因は大きく4つあると言われています。①解剖学的要因②咽頭筋の反応性③呼吸調節の不安定性④覚醒反応閾値の問題などです。太っている人が発症する病気だというイメージを持っている方が、多いのではないのでしょうか。しかし実際には、先の4つの原因が複雑に絡み合って発症していますので、痩せていても睡眠時無呼吸症候群を患っている方は大勢います。今回は、①解剖学的要因として閉塞性の睡眠時無呼吸症候群（以下OSAS）になりやすい身体的特徴について説明します。

◆肥満

OSASの代表的な原因となるのが肥満です。首の周りに脂肪が蓄積することによって気道が狭くなり、これがいびきやOSASの原因となります。また、首の周りについて脂肪が仰向けで眠る際に、重力によって気道を圧迫することでも狭くなります。さらには、舌の周りに脂肪が蓄積することでも気道が塞がりやすくなります。

ピックウィック症候群

高度肥満に伴う有名な病気です。下記のイラストのように高度の肥満があり、昼間の居眠り、夜間の呼吸中断が基本的な症状で、睡眠時無呼吸症候群の代表的な症状を持ちます。肥満のため上気道が狭くなり、肺に出入りする空気の量が少なくなるのが原因であり長期間続くと筋肉のけいれん、全身の皮膚のチアノーゼ、心不全などが見られるようになります。



◆骨格

肥満を除くOSASの原因として、日本人を始めとしたアジア人に多いのが骨格の問題です。アジア人は、欧米人と比較して下顎が小さく後ろに下がっています。その影響で気道が狭くなり、肥満でなくてもいびきやOSASが引き起こされます。加えて現代人は昔と比べて硬いものを食べる機会が少なくなったため、下顎が発達しづらく顎が小さい人が多いといった背景も影響していると考えられます。また、下顎が小さいと舌が口腔内に収まりづらく、気道を塞ぎやすいといった側面もあります。骨格に関しては、親子では顔つきが似ることが多いため、親がOSASの場合はその子供もそうである可能性が高くなります。

◆その他

その他の原因としては、慢性副鼻腔炎や鼻ポリープ、鼻中隔彎曲症、アレルギー性鼻炎などがあり、鼻づまりで口呼吸になってしまっている場合も、OSASを発症する可能性が高くなります。また、小児に多い原因として扁桃肥大やアデノイド増殖症がありますが、大人になっても肥大が持続する場合があります。これもOSASの原因となります。

参考文献

いびきメディカルクリニック 睡眠時無呼吸症候群の原因は4つ！症状を判断・予防する方法 https://www.ibiki-med.clinic/column/causes_sleep_apnea_syndrome/
睡眠時無呼吸症候群の診療ガイドライン2020 https://www.jrs.or.jp/publication/file/guidelines_sas2020.pdf ・無呼吸ラボ 睡眠時無呼吸症候群が疑われる人の特徴 <https://mukokyu-lab.jp/sas/characteristic.html>

消耗品の交換方法が変わります

従来どおり受診時でも構いませんが、マスクやホース等の交換を希望される場合、患者さん自身で直接業者に連絡しても可能となりました。

※以下がそれぞれの業者の連絡先になります。

帝人……………0120-365-474

メディカル……0120-29-8828

フィリップス…0120-48-4159

フクダ電子……058-271-2251

メディスス……058-201-4159

名古屋SC……052-893-6296



099.jp - 072720

耳鼻咽喉科・アレルギー科
いびき・無呼吸検査治療室



むらいクリニック

〒503-0836

岐阜県大垣市大井2-44-2

TEL 0584-77-3838

Fax 0584-77-3839

予約専用TEL 0584-47-9898

<http://www.murai-clinic.jp>



ホームページ



予約サイト



LINE公式サイト